

第4学年2組 学級活動（1）指導案

平成28年10月18日（火）第5校時

指導者 森脇 優香

1 議題 「学級目標を達成できるような、後期の係活動を考えよう」（1）イ

2 議題について

（1）学級の実態（男子12名 女子11名 計23名）

本学級は、穏やかな児童が多く、失敗したりできないことがあったりした子がいてもすぐに助けてあげる姿が多く見られる。男女の仲も良く、休み時間は一緒に遊んだり話したりしていることが多い。与えられた課題には一生懸命取り組み、学習態度や学校のルールを守って行動するなどの基本的な生活習慣はほとんどの児童が身に付いている。一方で、クラス遊びをする時などは、人まかせにする子が多く、なかなか遊びが進まなかったり、進める上でうまくまとめられずに雰囲気が悪くなってしまったりという場面が多く見られた。

話し合い活動については、前年度までに輪番制による学級会を行った経験はなく、教師主導での話し合いや、特定の児童の司会のもと、話し合いが行われていた様子が伺える。そこで、夏休み前には、児童から提案があった「なかよくなる会をしよう」に加え、「学級目標を作ろう」「学級の旗を作ろう」等の議題を担任から出し、司会グループを輪番制にして話し合いを行ってきた。9月からは、計画委員会を組織して児童主体の学級会（「なかよし会議」）を始めた。

学級会についてのアンケートを行い、意見を発表することについての児童の思いを調べた。結果は以下の通りである。

	大好き/できる	すき/少しできる	あまり…	きらい/できない
1 学級会（話し合い）をするのは好きですか。	4人 (17%)	9人 (39%)	8人 (35%)	2人 (9%)
2 議題にそって、自分の意見を考えることはできますか。	13人 (57%)	6人 (26%)	4人 (17%)	0人 (0%)
3 考えた自分の意見を発表することができますか。	10人 (43%)	6人 (26%)	5人 (22%)	2人 (9%)
4 自分の意見をみんなの前で発表することは好きですか。	4人 (17%)	7人 (31%)	11人 (48%)	1人 (4%)
5 4年2組は、自由に発言できる雰囲気があると思いますか。	4人 (17%)	13人 (57%)	6人 (26%)	0人 (0%)

まず、学級会（話し合い）が好きと回答した児童と嫌いと感じた児童はだいたい半数ずつだった。好きな理由としては、「他の人の意見を聞いて考えを深められる」「みんなでクラスのことを決めていくのが楽しい」、と話し合いの良さを理由として書いている児童と、「自分の意見が通るとうれしい」「自分の意見をみんなが聞いてくれるのがうれしい」など、自分のうれしさを理由として書いている児童がいた。また、嫌いな理由としては、「言い合いになるのが嫌だ」「みんなの前で話をするのが緊張する」といっ

た理由があげられた。次に、8割以上の児童が自分の意見を考えることはできているが、発表をすると「できる」と回答した児童は7割に減る。さらに、自分の意見を発表するのが嫌いな児童は半数を超えていた。理由としては、「発表するのが恥ずかしい」という自分の中での理由と、「反対されると嫌だ」という他の児童との関係の中での理由があげられた。これは、自由に発言できる雰囲気にもつながっていく。「強く言われる」「なんで、と言われる」といった経験を書いた児童もいた。そこで、学級会を通して、「発言したい」「話合いは楽しい」と感じる子が多くなるよう、自由に発言できる雰囲気作りを行うこと、意見を言ってよかったと思える体験をさせることに取り組んでいきたい。

(2) 議題選定の理由

本学級の児童は、前年度までは「手紙係」「配り係」などの当番活動を係活動としてやってきていて、自分たちで作っていく係活動を経験してきていない。今年度は、手紙を持ってくことやノートを配ること等は当番活動として1人1役の役割を作った。また、係活動について説明をし、いくつかの係の例を紹介した上で、係を編成した。前期の係は「くじ」「クイズ」「なぞなぞ」「迷路」「読み聞かせ」「かざり」「忘れ物チェック」「ランキング」「レク」の9つの係で活動してきた。初めての経験ではあったが、もともと何事に対してもやる気があり、一生懸命取り組む児童が多いので、どの係も自分たちで活動内容を考え、休み時間にも自主的に活動をしている係もあった。活動を進めていく中で、活動が少なくなってしまう、他の係の児童から「そろそろ新しいなぞなぞを出した方がいいんじゃない？」と声をかけられて活動に取り組む係も見られるようになった。一生懸命活動している係から、「せっかく用意をしたのに、みんながなかなか見てくれない。」といった不満も出てくるようになった。また、アンケートへの協力やイベントへの参加を係から呼びかけると、「全員やらなきゃいけないんですか？」と質問する児童もいた。その都度、どの係もクラスをより良くし、学級目標を達成するために活動してくれているのだから、その気持ちに対して他の人も応えることが大事だということを伝えてきた。

今回後期の係を決め直す上で、前期の係について、係の振り返りを行い、後期の係決めに生かしていく。話合いの中で、続けるとクラスにとって良い係、前期にあったもの以外であるとさらにクラスが良くなる係を出し合っていく。その話合いを経た上で自分の係を決定することで、単に自分がやりたい係を選ぶのではなく、クラスにとっての利点も考えて選ぶことができると考える。その観点も踏まえて選ぶことができると、より良いクラス作りにもつながっていくのではないだろうか。また、前期はお楽しみの係が多くなってしまったので、楽しい以外にクラスをより良くする方法を全体で考えていきたい。

〈現在の係活動について〉

(_____ はその後活動したもの)

係	どんな活動をしたか	もっとクラスが楽しくなるような活動
わくわくくじ (くじ)	・ラッキーカラーくじを作ってみんなにひいてもらった。	・大吉、中吉などを書いたくじを作りたい。 ・プレゼントくじを作りたい。 ・占いつきのくじを作りたい。
物語チーム (読み聞かせ)	・紙芝居を作って、休み時間に読み聞かせをした。	・紙芝居だけでなく本も読みたい。 ・おすすめの本を図書の先生に聞いて、それをみんなに紹介したい。

クイズ??チーム (クイズ)	・クイズを書いて貼って、解いてもらった。	・ <u>クイズ大会を開きたい。</u> ・1日のいつかの時間にクイズを出したい。 ・ <u>クイズ新聞を作りたい。</u>
なぞなぞペッパーズ (なぞなぞ)	・なぞなぞを書いて貼って、解いてもらった。	・なぞなぞを出す時間を作りたい。 ・ <u>なぞなぞ絵本を作りたい。</u>
いろいろめいろ (迷路)	・迷路を作って、みんなにやってもらった。	・もっと難しい迷路を作りたい。
☆かざり☆ (かざりつけ)	・季節にあったかざりつけをした。	・ <u>みんなの好みを聞いて参考にする。</u> ・みんながかざりを作れるコーナーを作りたい。
サウカーマン (忘れ物チェック)	・忘れ物チェックをした。 ・忘れ物が少なかった人はチェック表に名前が刻まれる。	・ <u>忘れ物が少なかった人に賞品をあげたい。</u>
しつもんランキング (ランキング)	・1週間に1度アンケートをとって、結果をグラフにして貼る。	・どんなお題がいいかみんなに聞く。 ・アンケートの答えをクイズにする。
レク (遊び決め)	・ロング昼休みのクラス遊びを決める。	・ <u>みんなに事前にアンケートをとって、遊びを決めたい。</u>

〈後期の係活動について〉

	あった方がいい活動	理由
図書	・学級文庫を整理する。	・すっきりして過ごしやすいためから。 ・番号順になっていると気持ちがいいから。
	・本や紙芝居を読む。	・みんなにいろいろな話を知ってもらいたいから。
	・本を紹介する。	・知らない本を紹介されたら、読んでみようと思えるし、知っていることが多くなるから。
チャレンジ・協力	・チャレンジ・協力の内容を考えてみんなに呼びかける。	・せっかくチャレンジ・協力コーナーを作ったから。 ・係で決めたら、いろいろなことにチャレンジしていけるから。
	・忘れ物チェックをする。	・みんなの忘れ物が減らせるから。 ・前期にやっていて、忘れ物が減ったから。
お祝い	・誕生日の人をお祝いする。	・みんながもっとなかよくなれるから。 ・せっかくお祝いすることに決まったから、係として中心になる人がいるといい。
	・何かできるようになったことがある人がいたらお祝いをする。	・みんなで応援するといいと思ったから。

給食	・給食を時間内に食べ終わった人をチェックして、シールやメダルをあげる。	・時間内に食べ終わらない人が多くて、少なくなるといういなと思ったから。
	・給食を早く食べられるように声をかける。	・給食を食べるのが遅い人がいて、給食当番や給食室の方も困るから。
	・給食の時にしゃべらないタイムを作って、みんなに教える。	・しゃべらないと早く食べられて、時間内に食べ終わると思うから。
掲示	・ポスターを書いて廊下や教室の入り口に貼る。	・みんなに気を付けてもらいたいことを書けば、みんなが注意するようになるから。
	・新聞をかく。	・クラスの出来事などがよくわかるから。 ・クラスのことを記事にすると、もっとよくなりたいと思うから。 ・がんばっている人について書くと、その人もうれしいから。
企画	・イベントを提案して開催する。	・みんながもっと楽しくなるから。 ・クラスを楽しくしたいから。
	・ギネスを企画して、結果を本にする。	・ギネスに挑戦したらみんな楽しんでくれるから。
	・クラス遊びを計画する。	・みんなで遊ぶと運動不足にもならないし、楽しいから。
お楽しみ	・クイズやめいろを出す。	・前期もやっていて、みんな楽しんでいたので。
	・問題が終わった人用に復習問題や難しい問題を作ってあげる。	・終わった人も静かに過ごせそうだから。
健康・元気	・がんばっている人を応援する。	・応援されるとうれしいし、勇気が出るから。
	・ラジオ体操をする。	・朝眠い人は目が覚めるから。
	・外遊びをするように呼びかける。	・中にいるより外遊びをした方が風邪をひきにくくなるから。 ・運動不足にならないし、みんなで遊ぶと楽しいから。
	・換気をする。	・空気がきたなくなると、風邪をひきやすくなるから。
	・手洗いうがいをしたかチェックする。	・手洗いうがいをしたらみんな元気に過ごせるから。 ・手洗いうがいはやった方がいいのに、今はやっていない人もいるから。 ・みんなで休まず元気に過ごしたいから。
	・風邪予防のポスターをかく。	・風邪対策をして、みんなで元気に過ごしたいから。
	・体育の準備体操などの時に大きな声を率先して出す。	・みんなもつられて大きな声を出して元気がよくなるし、盛り上がるから。

きれい・掃除	・教室をかざりつけする。	・よりよく過ごせるから。
	・花をかざって、水やりをする。	・今も教室に花があるし、あった方が教室がきれいに見えるから。
	・ピンクの粉や霧吹きの使用方をポスターで知らせる。	・無駄に使っている人がいるから。
	・1か月に何回か、休み時間に教室を掃除する。	・教室がきれいになるから。
	・教室にかざりつけをする。	・前期にやっていて、華やかになってよかった。 ・かざりつけをするだけできれいに見えるから。
	・ファイルを整頓する。	・みんなが気持ちよく過ごせるから。

3 研究主題とのかかわり

<p>研究主題</p> <p>「自主的・自発的に行動し、生きる力を身につけた児童生徒の育成」 ～効果的で望ましい話し合い活動のあり方～</p> <p>研究目標</p> <p>学級活動等の集団活動における児童生徒の自主的・実践的な態度を育成する指導のあり方を明らかにするとともに、話し合い活動の一層の充実を図る。</p> <p>研究仮説</p> <p>(1) 学級活動等の集団活動において、集団の実態を踏まえ、一人一人の児童生徒の課題意識や役割分担を明確にし、活動の過程を具体的につかませ、活動に取り組ませれば、児童生徒の集団への帰属意識や活動での達成感が高められ、自主的・実践的な態度が育つであろう。</p> <p>(2) 話し合い活動において、話し合いの効率化を図るとともに、活動の目標の共有化を図り、考えや取組の可視化や認め合う活動を行っていけば、取組への意欲や達成感が高まり、自主的・実践的な態度が育つであろう。</p>

常時活動に関わる手立て

○学級会ノートの活用

たくさんの児童が意見を発表することができるよう、議題について、一人一人がじっくりと考える時間を取ってから学級会に臨ませたい。議題内容について、自分の意見やその理由を事前に学級会ノートに書くようにする。事前に教師が目を通し、個々の意見のよい点や、意見を考えられたこと自体に対して肯定的な言葉を書き、自信をもって発表できるようにしたい。また、必ず自分の意見とその理由を書くことになるので、人まかせにすることや積極的に意見を考えないことがなくなり、話し合いが活発になると考える。計画委員会にとっても、事前に意見が分かるので、話し合いの流れを計画しやすいという利点もある。いい意見を書いているのに発言できない人がいた場合は、司会側から指名したり、代わりに意見を言ったりして、話し合いの中にいい意見を取り入れていきたい。

○活動の流れのサイクル化

計画委員会を中心に学級会を進めていくのが初めてなので、2週間を1サイクルとして、活動の流れの見通しを持たせるようにする。最初は、予定を詳しく書き込んだカレンダーを用意し、それを見ながら進めさせる。慣れてきたら、下の表を教室内に掲示しておき、自分達から予定を把握し積極的に活動に取り組めるようになって欲しい。

曜日	1月	1火	1水	1木	1金	2月	2火	2水	2木	2金
朝	ポストを開ける	議題を知らせる								
業間			学級会 コーナー 準備	→		板書準備	→		学級会 コーナー 掲示	
給食	議題決め 役割決め									
その他			ノートを 配る		ノート 提出			学級会 当日	実践 スタート	

○話し合いのルール徹底

学級会を進めていく上で、友達の見解に対して、賛成か反対かで意見を言う児童が多かった。その結果、アンケートで、発表するのが嫌いな理由として「反対されるのが嫌だ」と書いていた児童がいたのではないかと考えられる。出されている意見に対して反対だと表明すると、せっかく意見を出した児童は嫌な気持ちになり、次から意見を言いづらくなってしまふ。そこで、話し合いのルールとして、「相手の意見に反対するのではなく、よりよくするためにどうすればよいかを考えよう。」とつけ加えた。自分とは違う意見を「反対」という一言で片付けてしまふのではなく、より良くするにはどうすればいいかと自分の問題としてとらえ、話し合いをしていくことで、さらに話し合いが深まっていくのではないだろうか。

○ハンドサインの活用

本学級には、数名ではあるが、自分から発表することができない児童がいる。中でも1名は、日直のスピーチなどでも、声が小さくみんなに自分の意見を届けることができていない。さらにはみんなに注目されると緊張してしまふ、声を出すこともできなくなってしまう。話し合いの中で、少なくとも1人1回発言することが理想だが、発表が苦手な児童も話し合いに参加できるよう、ハンドサインを活用していく。グーは同じ意見、パーは他の意見、チョキは質問、指1本は付け足しを表すことを確認している。また、このハンドサインは、司会が指名をする際にも手助けとなる。質問や付け足しの児童を意図的に指名することによって、話し合いがより深まると考える。

今回の議題に関わる手立て

○前期の係の振り返り

前期、初めて係活動に取り組んでみて、それぞれの係でうまくいった点、うまくいなくて困ってしまった点などがあるだろう。また、その係に取り組んだからこそ、さらにやってみたい活動や活動の改善点を思いついたりするだろう。そこで、係ごとに自分たちの活動を振り返り、全体で係活動発表会を行って振り返りを共有する。自分が取り組んだ以外の係についても、よかったところやうまくいかなかったところを知ることができ、係の再編成の際の参考になると考える。

○係再編成の方法の提示

係を再編成することも初めてだと考えられるので、再編成の仕方を表で分かりやすく提示していく。具体的な方法としては、「つづける」「くっつける」「分ける」「なくす」「つくる」の5つで行っていく。ただ、前期から係の編成が大きく変わると考えられるので、今回は再編成の方法は紹介にとどめ、使えるものがあれば使っていくこととする。

4 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
楽しい学級生活をつくるために係活動を工夫することに関心をもち、他の児童と協力して意欲的に集団活動に取り組もうとしている。	楽しい学級生活をつくるために係活動の内容を考え、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、協力し合って実践している。	係活動を通してみんなで楽しい学級生活をつくることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の基本的な進め方などについて理解している。

5 事前の活動

日時	活動の主体	活動内容	指導上の留意点
9月初め 朝の会	学級全員	夏休み前の係活動を振り返る。	係活動を振り返り、さらに係活動を工夫していきたいという思いをもたせる。
9月中	学級全員	振り返りをもとに、もっとやってみたい活動に取り組む。	今までにしていなかった活動に積極的に取り組ませるようにする。案が出ない係には、ヒントとなるような声かけをする。
10/13 給食	計画委員会	議題や提案理由を確認し、役割分担や話し合いの柱などを決める。	学級目標を達成できることが話し合いの最終目標であることを確認する。
10/13 帰りの会	学級全員	それぞれの係の振り返りも参考にして、自分の意見を学級会ノートに書く。	学級生活がもっと楽しくなる内容や、学級目標を達成できる内容を考えるよう助言する。
10/17 業間	計画委員会	全員の学級会ノートをもとに意見を短冊に書き出し、話し合いの中心となるものの目処をつけ、話し合いの流れをシミュレーションする。	話し合いの内容や進め方を担任も一緒に確認し、本時の話し合いを円滑に進行できるようにする。

6 本時の活動

(1) 本時のねらい

- 係活動を通して学級をさらによくするために、どのような係が必要かを理由とともに進んで発言しようとしている。【関心・意欲・態度】
- 学級目標達成に向けて考え、話し合うことができる。【思考・判断・実践】
- 司会や記録の仕方や基本的な話し合いの進め方を理解している。【知識・理解】

(2) 本時の展開

話し合いの順序	指導上の留意点	目指す子供の姿
1 始めの言葉	○司会が話し合いの方法や会の進め方がわかるように、司会カードを用意する。	・司会者に注目し、話し合いに臨む気持ちを高める。
2 計画委員の自己紹介	○司会者に協力的な態度で学級会に参加するように促す。	・話し合いの進め方や約束を理解し、司会者に協力して話し合いを進める。
3 議題の確認	学級目標を達成できるような、後期の係活動を考えよう。	
4 提案理由の確認 前期の係活動では、たくさんの係が工夫した活動をしていて、4年2組の学級生活が楽しくなりました。前期の係活動は、活動の内容が少なかったり中で遊ぶ係が多かったりしたので、後期は役に立つ係も入れて決め直したいと思ったので、提案しました。	○4年2組の学級目標を達成できるような係を考えたい、という意欲を高められるように促す。 ○学級目標を改めて確認する。	・4年2組をさらによくしたいという思いをもつ。
5 係の決め方の確認	○前期の係以外にも必要な係があるので、後期は前期の係も生かして決め直すことを確認する。 ○係活動を再編成する具体的な方法、「つづける」「くっつける」「分ける」「なくす」「つくる」を提示することで、話し合いのイメージがわくようにする。 ○話し合いの条件として、係の数、係の人数、希望者がいなかった場合どうするかを確認する。	
6 話し合いの柱の確認 ・柱1 後期の係を決めよう。	○議題・提案理由・話し合いの柱については、事前に学級会コーナーで知らせておき、司会により再確認することで、見通しを持って意欲	

<p>・柱2 係のメンバーを決めよう。</p> <p>7 話し合い</p> <p>話し合いの柱1</p> <p>・前期の係については、係名を書いた模造紙を提示し、どのような係があったのかを確認する。</p> <p>・後期にあるとよい係を出し合う。</p> <p>① 意見を出し合う</p> <p>② くらべ合う(5つの方法での係の整理)</p> <p>③ まとめる(決める)</p> <p>話し合いの柱2</p> <p>・児童の希望をもとに、係のメンバーを決めていく。</p> <p>8 決まったことの確認</p> <p>9 先生の話</p> <p>10 終わりの言葉</p> <p>11 振り返り</p>	<p>的に話し合いに臨めるようにする。</p> <p>○前期にあった係については、模造紙に書いてどのような係があったかを確認する。</p> <p>○事前に全員の学級会ノートにコメントを書いておくことで、自信をもって話し合いに参加できるようにする。</p> <p>○児童の意見を事前に短冊に記入しておき、効率的に話し合いを進められるようにする。新たな意見が出た場合はその場で短冊に記入する。</p> <p>○発表する児童が偏らないように、まだ発表していない児童から指名していくこと、ハンドサインも参考にし、指名していくことを助言する。</p> <p>○板書や、短冊の移動については必要に応じて支援していく。</p> <p>○自分の考えに固執せず、他の意見の良いところを取り入れたり意見を合わせたりしていくように促す。</p> <p>○希望者がいない係については、話し合いの中であった方がよいとされて決まったことを確認し、できるだけ誰かが自主的に希望できるように助言する。</p> <p>○ノート記録が発表し、学級全体で共通理解を図る。</p> <p>○今日の話し合いでよかったことや意欲的に参加していた児童を称賛するとともに、司会グループの頑張りへのねぎらいの言葉をかけ、達成感や充実感がもてるようにする。</p> <p>○自分や友達の頑張りや感想を、学級会ノートに書くように促す。</p>	<p>・自分の考えを理由とともに進んで発表する。</p> <p>・学級をより良くすることを目的に話し合いに参加する。</p> <p>・友達の考えと自分の考えを比べながら聞く。</p> <p>・友達の意見を参考にし、新たな意見を考え発表する。</p> <p>・学級会ノートに振り返りを書き、次回に向けての目標をもつ。</p>
---	--	---

7 事後の活動

日時	活動内容	指導上の留意点
10/19 朝の会	新しいメンバーで係の活動内容を話し合い、活動内容を決める。	クラスがより良くなるような活動を工夫して行っていくよう助言する。
10/19 業間	決まったことを学級会コーナーに掲示する。	学級会で決まったことの要点をまとめて書けるように助言する。
	学級全体に活動内容を報告し、係活動を行う。	どの係も、クラスがより良くなるよう活動してくれていることを確認し、他の係にも協力していける雰囲気づくりを行う。

8 板書計画

議 題 第六回 なかよし会議

学級目標を達成できるような、後期の係活動を考えよう。

提案理由
前期の係活動は、活動の内容が少なかつたり中で遊ぶ係が多かつたりしたので、後期は役に立つ係も入れて決め直したいから。

係の決め方
○五つの決め方で決める。
つづなる・くつつなる・分なる・なくす・つくる

話し合うこと①
後期の係を決めよう。

○前期の係について
前期の系名を書いたモ告紙

○あるとよい係
図書
チャレンジ・協力
給食
掲示
お楽しみ

きれい
元気
お祝い
き画

話し合うこと②